



只野 裕一 教授が日本機械学会フェロー会員に認定

【概要】

機械工学部門の只野 裕一 教授が、一般社団法人日本機械学会のフェロー会員に認定されました。今後、学会を代表するにふさわしい技術者として、学会運営の中枢を担っていくことが期待されています。

【本文】

機械工学部門の只野 裕一 教授が、一般社団法人日本機械学会のフェロー会員に認定されました。

日本機械学会は、1897 年（明治 30 年）に設立され 120 年を超える歴史をもつ、日本の機械工学分野を代表する学術団体です。会員数は 3 万人を超え、国内最大級の学術専門家集団のひとつとなっています。フェロー会員は、その中でも学会を代表するにふさわしいと認められ、社会的な活躍が期待される会員に対して認定されるものです。

只野教授はこれまでに、日本機械学会において会員部会委員、出版センター委員会委員、技術ロードマップ委員会委員、九州支部学生会顧問などを務め、特に計算力学部門においては、第 26 回計算力学講演会実行委員会幹事、計算力学講演会実行委員（第 21 回、第 34 回、第 35 回）、部門幹事、部門副幹事、表彰委員会副委員長、運営委員会委員など多数の委員を歴任し、その活動に大きく貢献しています。

また研究面においても、材料のマルチスケールモデリング、有限要素法やメッシュフリー法による種々の非線形問題の解析に関する研究に携わっており、これまでに多くの独創的かつ有用な研究実績をあげてきました。これらの研究業績に対して、2022 年には日本機械学会計算力学部門業績賞が授与されています。

今回のフェロー会員認定は、只野教授のこれまでの学会への貢献および研究業績が認められたものです。今後は学会を代表するにふさわしい技術者として、学会運営の中枢を担っていくことが期待されています。

2024 年度日本機械学会フェロー選考経過報告

<https://www.jsme.or.jp/about/fellow/list/fellow2024/>